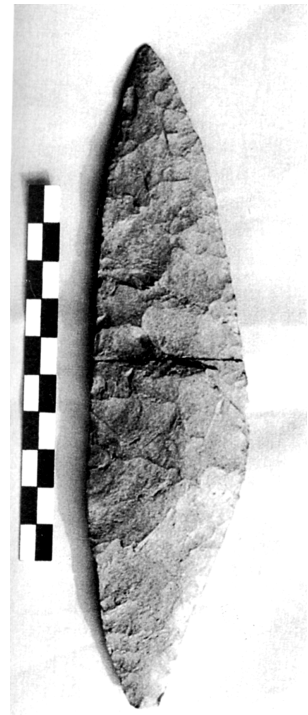


Ⅲ 人が住み始めた

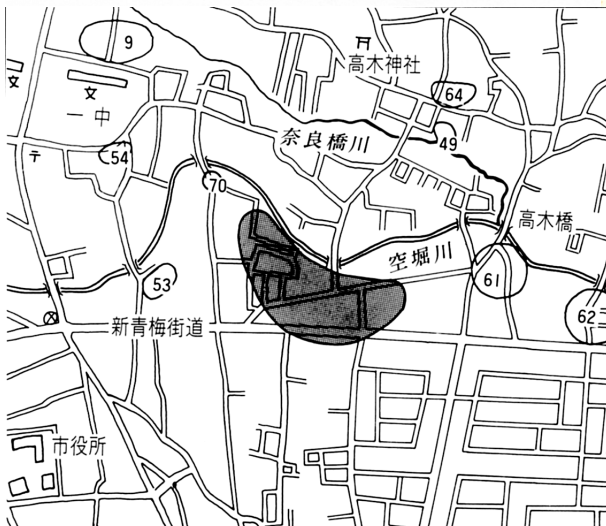
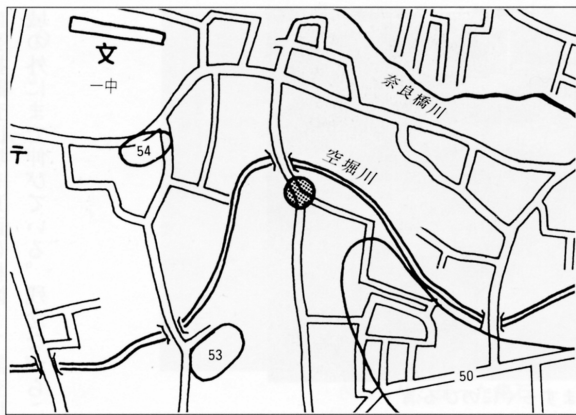
最初の住人（旧石器時代＝先土器時代）

- ①多摩川が移動したあとに箱根の山や八ヶ岳が噴火して、火山灰が降りました（2～5万年前）。
- ②武蔵野台地に、ヒトが住み始めました。赤土（ローム）の中。



まだ、土器をつくらなかったようで、石器や棍棒が主な道具でありました。東大和市では、市内最古のものとして、約1万5千年から2万年前と考えられる石器（左）が貯水池の中で発見されています。右は清水神社近くの上ノ台遺跡で発見された「大型槍先型尖頭器」

第一中学校の南に位置する丸山遺跡（2万年～1万5千年前）では、「集石遺構」と呼ばれる、図



のように焼けた石がまとまって出土しました。石焼き、蒸し焼きなどの調理道具に使われたと考えられています。暖房との説もあります。

丸山遺跡から東南に位置する街道内遺跡では旧石器から縄文時代にかけての遺物が発見されています。東大和市史資料編 3 発掘された先人の暮らし p 86 では『遺物の観察から、この遺跡が先土器時代から縄文時代草創期、早期、前期、中期、後期と長い時間にわたって営まれたものであることがわかった。また、地形的にも空堀川南岸に位置し、

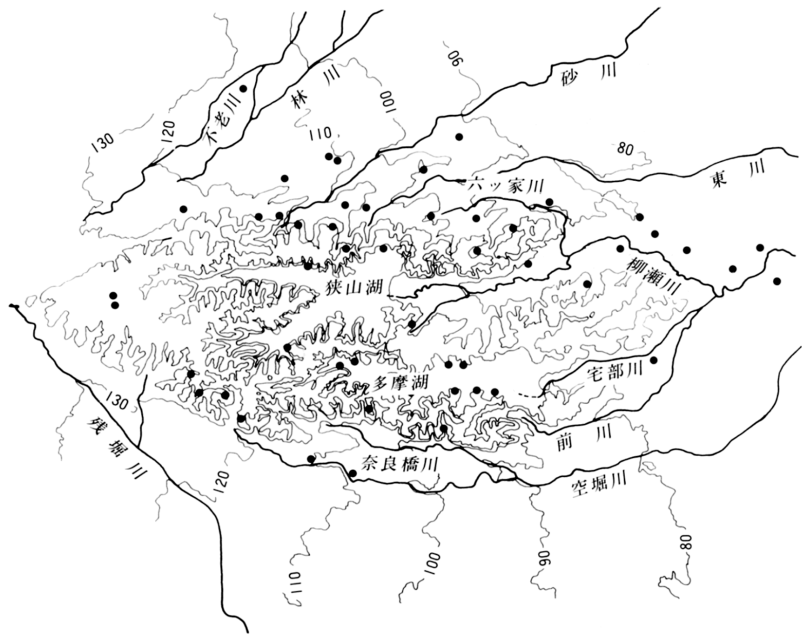
近接する丸山遺跡や丸山二の橋遺跡との関連性を探る必要がある。』と説明しています。

発見されている遺跡のほとんどが空堀川の近くにあります。小平市では、石神井川の源流に鈴木遺跡があり、3万年前と推定され、現時点では、東京都の最古の遺跡とされます。

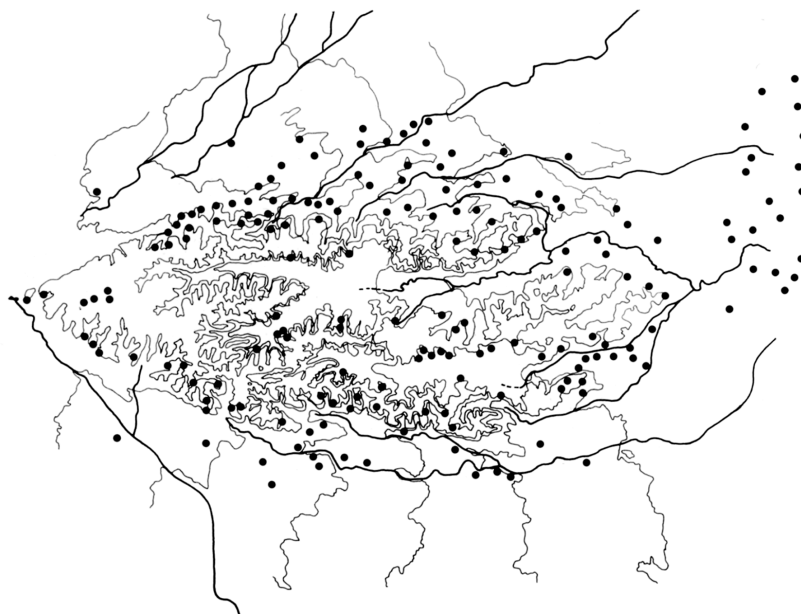
時代の特徴

- ・ 気候が温暖化し氷河時代が終わった（1万年前～6000年前）。
- ・ 氷河が解け海水が増え、海面が上昇した。ピーク時は現在より4メートル以上高い。
- ・ 埼玉県の大宮まで海が入り込み、後に縄文人が貝塚を作った。
- ・ 多摩川にサケが遡上した（あきるの市 前田耕地遺跡）。

縄文銀座・そして誰もいなくなった



縄文時代早期（草創期を含む）の遺跡分布



縄文時代中期の遺跡分布



縄文時代晩期の遺跡分布

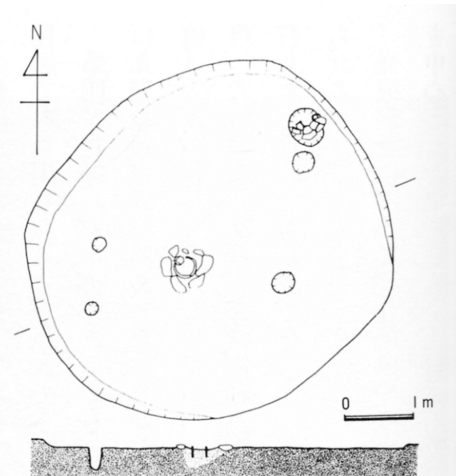
縄文時代の時代区分

普通縄文時代は次のように時代を区分します（1万年を6期に区分）。

草創期	約1万2000年前～1万、あるいは、9000年前	旧石器時代から縄文時代への移行期
早期	約1万0000年前～6000年前	中身の整備の時期
前期	約6000年前～5000年前	中身が豊かになってきた
中期	約5000年前～4000年前	最盛期
後期	約4000年前～3000年前	次第に衰退する時期
晩期	約3000年前～2300年前	次の弥生時代への移行期



1号住の石囲炉



諏訪山遺跡第1号住居跡

現在の湖畔地区にあたる、狭山丘陵南面の縄文中期の家と炉

この時代になると、竪穴住居に住むようになり、家の中に炉が置かれるようになりました。資料はいずれも東大和市史資料編 3 発掘された先人の暮らし によります。